

実践健康教育士養成のための講座

健康教育に関する情報満載



主催：特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構 後援：日本健康教育学会

参加型の演習を中心とした連続講座を通して、現場で役立つ能力を身につけることを目指します。今回、健康教育実践概論では「行動変容をふまえた運動・栄養支援プログラム」の講義です。運動指導テーマは「運動継続を意識した運動指導プログラム」です。家でもできる簡単ストレッチ、体を動かす楽しさを感じるコミュニケーションゲーム、ウォーキングの安全で効果的な実施方法を実践、体験できます。各講座、即戦力となるよう基礎から応用まで詳しい講義、演習を行います。

講座の内容 1. 日程・受講科目名・単位数および講師名

回数	年/月/日	科目名	単位	予定講師名**
1	2009/9/12 (土)	<必修> 健康教育原論 「健康教育・ヘルスプロモーションの考え方ー健康課題・政策を踏まえてー」 「新しいライフスキルの理論と実践」	2	川田 智恵子(目白大学大学院) 武田 敏(千葉大学名誉教授)
2	2009/9/19 (土)	<必修> 健康教育目標論 「誰のための目標か、何のための目標か - プリシードプロシードと健康観からの検討 - 」	2	宮坂 忠夫(東京大学名誉教授) 鎌田 尚子(女子栄養大)
3	2009/10/10(土)	<必修> 健康教育原論 「健康教育計画の立て方」	2	大津 一義(順天堂大)
4	2009/10/17(土)	<選択> コミュニケーション論(基礎編)	2	秋葉 栄久子(パレット健保組合) 金丸 徳久(日本ケンカ大将協会)
5	2009/11/14(土)	<選択> 健康教育実践概論 「行動変容をふまえた運動・栄養支援プログラム(講義)」 「運動継続を意識した運動指導プログラム (運動指導テーマ)」	2	萩 裕美子(東海大学体育学部)
6	2009/11/21(土)	<選択> 健康の疫学・統計 「データのまとめ方・使い方」	2	宮城 重二(女子栄養大)
7	2009/11/28(土)	<選択> ソーシャルマーケティング論 「自発的な行動に影響を及ぼす健康教育を考える」	2	中嶋 研二 (ホリスティック健康教育研究所)
8	2009/12/12(土)	<選択> 健康社会学(行動変容論含) 「個々人の夢実現プロセスを支援する環境整備」 「発育・加齢による身体変化と健康との関連」	2	星 旦二(首都大学東京) 小林 正子(女子栄養大学)
9	2009/12/19(土)	<選択> ヘルスプロモーション展開論 「主体的行動化と協働を促す展開方法」	2	川口 毅(財団法人全日本労働福祉協会) 清水 洋子(埼玉県立大学)
10	2010/1/23 (土)	認定試験		川田, 大津, 川口, 福渡, 鎌田, 宮城他

2. 場 所 : 女子栄養大学駒込キャンパス(東京豊島区駒込 3-24-3)

JR山手線、地下鉄南北線 駒込駅より徒歩5分

3. 認定単位数 : 1回(1日)2単位(9:00~12:00、13:00~16:00)

全講座で18単位設定。資格認定試験の受験資格には12単位(必修6単位を含む)の取得が必要です。12単位以上を取得し、認定試験に合格された方に、実践健康教育士の資格を授与します。ただし、レベルアップのため、全9回(18単位)の履修を推奨します。

4.参加費用：1単位1万円。単位を必要としない受講費用は1日5千円。認定試験の検定料は1万円。
ただし、認定試験希望者は12単位を越える分は1日5千円の聴講料をいただきます。

受講対象者 保健医療関係該当者（健康運動指導士、健康運動実践指導者については更新単位申請中）

● 申し込み方法 ・ 問い合わせ先 ●

申込用紙に必要事項を記して、下記の事務局にFAXにてお申込み下さい。申込書を確認後、別途詳細な案内をお送りしますので、受講科目についてはその際ご記入下さい。

申込期限：定員になり次第締め切ります。（定員60名）

〒350-0288

埼玉県坂戸市千代田3-9-21

女子栄養大学 保健管理学研究室内

特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構 実践健康教育士養成講座係

TEL：049-283-2317

E-mail：npohe@eiyo.ac.jp

FAX：049-284-2861

実践健康教育士養成講座 申込用紙

申込日 平成21年 月 日

ふりがな氏名： _____

男性 ・ 女性

所属： _____

連絡先： 勤務先・自宅（どちらかに をしてください。）

住所： 〒 _____

電話： _____ FAX _____

